



校長室だより

笑顔



さくらだいこくん

挑む・  
やい抜く



## 大槻俊斎先生の生き方から学び 夢や志をもつ子供たちに

～9月は「俊斎月間」です～

校長 片岡 明恵

夏休みが終わり、赤井小学校に子供たちの明るく元気な声が戻ってきました。

長期の休み明けは生活リズムが崩れてしまったり、目標を見失ってしまったりするお子さんが多いものですが、赤井小学校は違いました。

8月22日(木)猛暑の中の休み明け朝会。額から汗が流れるほど蒸し暑い講堂で、全員が背筋を伸ばし、目を輝かせて話を聞くことができました。すでに一人一人が目標を抱いて登校したことが分かりました。

**志の高い子供たちです。意欲に溢れています。**これは**大槻俊斎学習**を継続してきた成果であり、**和太鼓学習**で「心」を大切に過ごしてきた証なのだと思います。

夏休み中にさらに膨らんだ一人一人の夢、豊かな心がますます伸びていくように、全職員でより良い学校にしてまいります。変わらぬご協力をお願いいたします。



### 赤井の偉人「大槻俊斎」とは・・・

江戸時代後期の医学者。天然痘が江戸で大流行した時に多くの人の命を救って活躍した現在の**東京大学医学部の初代総長**です。

大槻俊斎の生まれ故郷は東松島市赤井(星場)。俊斎の医師となる夢を応援したのは赤井地区の人々でした。

この地域の応援に応えるために努力を続けた結果、俊斎は名医として後世に名を残す偉人となりました。

**「人のために力を尽くすこと」は自分の幸せにつながることを、「継続は力なり」の諦めない精神が人の成長につながることを**、赤井小学校では「大槻俊斎学習」として全学年が学んでいます。

今日は、6年生が学校運営協議会委員 外処健一様から講話をいただき、**俊斎の志**について学習をしました。

あかいつ子は  
大槻俊斎のように、「あたたかく・かしこく・いきいきと」  
あきらめずに とことんがんばります！！



#### 「赤井いぶき太鼓」の活躍

酷暑の中、東松島夏祭り、オール赤井まつりで6年生が和太鼓演奏を行いました。地域の方々の前で演奏するたびに自信を付け、ますます太鼓好きになる輝く子供たちです。

保護者の皆様の協力無しには叶わぬ発表の場です。職員一同大変、感謝しております。



# あかいっ子の「学力」「体力」「志」



◎ 様々な数値結果から結果を述べますが、数値の高い低いを重視するのではなく、数値から指導改善を検討していくことが大切だと考えています。

## 1 令和6年度全国学力・学習状況調査の結果(対象6年生)

算数は県平均を上回り、全国平均と同点である。国語については全国平均からマイナス5点ではあるが、大きな差は開いていない。しかし詳しくみると苦手な領域があることが分かる。マイナス領域に力を入れることで全体のベースアップをねらっていく。

### 1 国語科における平均正答率

	全 体	知識及び技能			思考力・判断力・表現力			記述問題
		言葉の特徴や使い方に 関する事項	情報の扱い 方に関する 事項	我が国の言 語文化に 関する事項	話す 聞く	書 く	読 む	
赤井小	63	61	90	63	44	63	77	68
全国比較	-5	-3	+3	-8	-16	-5	+6	+3

### 2 国語に関する関心・意欲・態度

質 問 事 項	赤井小	全国比較
国語の勉強は好きですか	79	+17
国語の勉強は大切だと思いますか	100	+5
国語の授業の内容はよく分かりますか	90	+4
国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	100	+7

### 3 算数科における平均正答率

	全体	数と計算	図形	変化と関係	データの活用	記述式問題
赤井小	63	60	79	44	61	50
全国比較	0	-6	+13	-8	-1	-1

### 4 算数に関する関心・意欲・態度

質 問 事 項	赤井小	全国比較
算数の勉強は好きですか	95	+34
算数の勉強は大切だと思いますか	100	+5
算数の授業の内容はよく分かりますか	100	+28
数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	100	+6

### 5 国語・算数に関して

特筆すべきことは、学習に向かう子供の「関心・意欲・態度」である。

そもそも社会に役立つこととして学習を捉え、国語も算数も社会生活に必要なから大切であると考えていることが分かる。

マイナス10点未満の領域は「あと1問」正答すれば、全国平均に並ぶ領域である。

最重要課題は国語の「思考力・判断力・表現力」の「話す・聞く」である。「話し手が伝えたいことの中心を捉えること」「自分が聞きたいことの中心を明確にして聞くこと」が苦手である。

低学年では相手の話に感想をもつこと、中学年では自分の考えをもつこと、高学年では話し手の考えと比較しながら自分の考えをまとめることを積み重ねていく。

算数については、「変化と関係」つまり二つの量の関係について考察する力が弱い。問題の場面を頭に描けるようにすることが大切である。

日常の具体的生活場面を問題に取り入れていく。問題場面を頭に思い描けるようにすることで、数量の関係に着目できるようになる。問題場面を頭に思い描く力を高めるために、低学年では具体的操作を多く取り入れたり、問題場面を図に描いたりする活動を多く取り入れ、図と式と結び付けていく。中学年では具体的操作が無くとも問題の意味を図と式で表せるようにしていく。高学年では図と式で表したものを言葉で説明する力を付けていく。

## 2 令和6年度新体力テストの結果(対象全校)

体力合計点は、すべての学年が全国平均を上回っている。すべての学年が「握力」で全国平均・県平均を大きく上回っている。このことは体育の学習や「鉄棒」「雲梯」「ジャングルジム」「登り棒」などの遊具遊びの成果、日頃から家庭でお手伝いをしていることにより、しっかりと手指を使っていること、さらに和太鼓学習に取り組んでいることの成果が大きいと考えている。

上段：本校の結果      下段：全国の結果      全国より良い結果      全国より低い結果

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
握力	13.07	12.13	16.25	15.33	19.28	23.14
	8.52	10.09	11.76	13.88	16.45	18.66
上体起こし	11.57	12.40	12.06	16.25	17.06	16.86
	11.77	13.63	15.70	17.27	18.50	19.48
長座体前屈	30.64	33.07	30.75	40.00	41.39	42.86
	28.49	30.64	33.08	35.68	37.81	41.14
反復横跳び	30.29	31.33	36.44	36.67	40.11	43.29
	26.88	29.88	33.34	36.89	39.93	42.15
シャトルラン	9.36	21.73	31.13	29.33	29.83	36.43
	15.60	21.59	27.77	33.98	40.44	45.08
50m走	11.70	11.18	10.38	10.45	9.45	9.20
	11.77	10.95	10.42	10.00	9.57	9.26
立ち幅跳び	113.71	120.00	133.31	137.25	152.44	157.71
	108.42	119.62	128.26	137.98	148.68	154.71
ボール投げ	5.43	8.20	9.00	12.00	15.00	15.43
	5.63	7.37	9.33	11.53	13.42	15.22
体力合計点	33.29	39.67	44.88	50.08	56.50	60.57
	30.90	38.04	44.20	50.06	55.65	60.23

課題は「上体起こし」「シャトルラン」である。柔軟性と持久力を意識して体育指導に当たっていく。

## 3 子供の生活・「志」

### (1) 日常生活

質問事項	赤井小	全国比較
学校に行くのは楽しいと思えますか	95	+10
自分と違う意見について考えるのは楽しいと思えますか	79	+3
友達関係に満足していますか	95	+4

普段の生活の中で、 <b>幸せな気持ち</b> になることはどれくらいありますか	95	+3
授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、 <b>お互いに協力しながら課題の解決</b> に取り組んでいますか	100	+8

## (2) 規範意識等

質問事項	赤井小	全国比較
人が困っているときは、進んで <b>助けて</b> いますか	100	+7
<b>いじめ</b> は、どんな理由があっても <b>いけない</b> ことだと思いますか	100	+3
人の <b>役に立つ人間</b> になりたいと思いますか	100	+4

## (3) 自己有用感等

質問事項	赤井小	全国比較
自分には、 <b>よいところ</b> があると思いますか	90	+6
<b>先生</b> は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	89	-1
将来の <b>夢や目標</b> を持っていますか	89	+7
<b>地域や社会をよくするために</b> 何かしてみたいと思いますか	84	-2

## (4) 家庭学習時間等

質問事項	赤井小	全国比較	
学校の授業以外に普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、 <b>勉強</b> をしますか	3時間以上	5	-6
	2～3時間	16	+3
	1～2時間	63	+32
	30分～1時間	16	-11
	30分未満	0	-13
	全くしない	0	-5

## (5) デジタルメディアとの付き合い方

質問事項	赤井小	全国比較	
携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について <b>家の人と約束した</b> ことを守っていますか	84	+14	
普段（月～金曜日）、1日当たり <b>どれくらいの時間、テレビゲーム</b> （コンピュータゲーム・携帯式のゲーム・携帯電話やスマートフォンを使ったゲーム）をしますか	4時間以上	0	-18
	3～4時間	11	-2
	2～3時間	11	-2
	1～2時間	47	+22
	1時間未満	26	+8
	全く使用しない	5	-3

子供の生活等に関する調査においても、全国平均を大きく上回る結果である。

特に、(1) 日常生活 (2) 規範意識等 (3) 自己有用感等の調査において90%を超える回答が多く、赤井地域での生活が安心・安全で過ごしやすい環境であることから、人と助け合うことに喜びを感じ、役に立つ人間になりたいという意識を当たり前にも高くとっていることが読み取れた。

このことは学校の教育活動による成果ではなく、「人としていかに生きていくか」というベースが、学校、家庭、地域で同じであることによる**地域の教育力**であると痛感している。

### <すべての調査結果から明らかに言えること>

**「学校」「家庭」「地域」と三者連携による取組の充実が、子供に向上心と規範意識、協同の心を育むこと。**

**人を助けたいと思う気持ちは、自らの幸福感に結び付いていること。**



これからも赤井地域全体で、すべての子供を我が子のように育てていきましょう。開校150周年記念大運動会へのご参加・ご協力もよろしくお願いいたします。